

(図中の文字)

鏡山 七

島井又助

殿を付水中

をくぐり

筑広川を

立のく

(名標)

又助

鏡山 八

谷沢頼母

采女を

落し

言わけに

切腹

する

(名標)

頼母

鏡山 九

菊酒屋

の

娘

采女を

したふ

(名標)

番頭

采女

お菊

鏡山 十

正司筑广

川におち有し

脇さしを

采女に

渡す

(名標)

安田正司

采女

鏡山 十一

又助

女房

忠義

の

ため

身を

売る

(名標)

又助

女房

又吉

鏡山 十二

又助

入違ひにて

大殿を

付し

事を聞き

采女か手にかゝる

(名標)

安田正司

又助

采女